

## 令和6年第7回岐阜市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年7月3日（水曜日）午後2時30分から午後3時15分まで

2 場 所 岐阜市役所6階 10-2会議室

3 出席者 水川教育長、伊藤委員、加藤委員、岡本委員、益子委員

4 説明及び職務のために出席した事務局の職員

野田事務局長、朝倉次長、小出教育統括審議監、  
塩田義務教育学校整備審議監兼教育施設課長、中田義務教育審議監兼学校指導課長、  
吉元学校教育デジタル化推進審議監兼学校指導課GIGAスクール推進室長、  
今井教育政策課長、熊澤学校指導課教育主管、後藤学校指導課主幹兼教育推進係長、  
歳藤学校安全支援課長、山田学校安全支援課教育主管、森学校安全支援課主幹、  
高橋幼児教育課長、広瀬岐阜東幼稚園長、杉山学校給食課長、  
松山岐阜商業高等学校事務長、西沢科学館主幹、松村社会・青少年教育課長、  
真野教育政策課政策係長、勝野教育政策課副主査、小塚教育政策課副主査、  
山本教育政策課主任

5 議事日程

第1 開会

第2 前回会議録の報告、修正及び承認

第3 会議録署名者の指名

第4 諸般の報告

---

(1) 臨時代理の報告 岐阜市教育委員会附属機関委員の任免について（教育政策課ほか）

---

(2) 臨時代理の報告 岐阜市教育委員会フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度任用職員の任免について（教育政策課ほか）

---

(3) 臨時代理の報告 岐阜市教育委員会事務局の人事異動について（教育政策課）

---

---

※(4) 臨時代理の報告 岐阜市立学校職員の人事について（学校指導課）

---

## 第5 議事

---

※(1) 第38号議案 岐阜市教育委員会附属機関委員の任免について（教育政策課ほか）

---

※(2) 第39号議案 岐阜市学校運営協議会委員の任免について（学校指導課）

---

※(3) 第40号議案 岐阜市立学校職員の人事について（学校指導課）

---

## 第6 その他

---

(1) 令和6年第3回（6月）岐阜市議会定例会質問及び答弁の概要について（教育政策課）

---

## 第7 閉会

## 6 会議に付した事件

「5 議事日程」のとおり。

※については非公開にて会議

午後2時30分開会

**○水川教育長** 本日の出席者数が定数に達し、会議が成立いたしますので、ただいまから令和6年第7回岐阜市教育委員会定例会を開会いたします。

なお、小森委員におかれましては、本日欠席の旨、ご連絡をいただいております。

よろしくお願いいたします。

まず、前回の会議録は、前回の出席者により承認されました。

本日の会議録の署名者には、本日の出席者を指名いたします。

では、議事日程を御覧ください。

本日は、諸般の報告が4件、議事が3件、その他が1件となっております。

議事日程に、非公開で審議すべき案件が記載されておりますが、このとおり扱うことにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○水川教育長** 非公開で審議すべき案件については、このとおり扱うものといたします。

それでは、日程第4、諸般の報告に参ります。

報告(1) 臨時代理の報告について説明をお願いいたします。

**○真野教育政策課政策係長** (臨時代理の報告(1) 岐阜市教育委員会附属機関委員の任免について説明)

**○水川教育長** ただいまの説明について、質問や意見があればおっしゃってください。

よろしいでしょうか。

続きまして、報告(2) 臨時代理の報告について説明をお願いいたします。

**○真野教育政策課政策係長** (臨時代理の報告(2) 岐阜市教育委員会フルタイム会計年度任用職員及びパートタイム会計年度任用職員の任免について説明)

**○水川教育長** ただいまの説明について、質問や意見があればおっしゃってください。

よろしいでしょうか。

続きまして、報告(3) 臨時代理の報告について説明をお願いいたします。

**○真野教育政策課政策係長** （臨時代理の報告（3） 岐阜市教育委員会事務局の人事異動について説明）

**○水川教育長** ただいまの説明について質問や意見があればおっしゃってください。  
よろしいでしょうか。

続きまして、日程第6、その他にまいります。その他の（1）について説明をお願いいたします。

**○真野教育政策課政策係長** （その他（1）令和6年度第3回（6月）岐阜市議会定例会質問及び答弁の概要について説明）

**○水川教育長** ただいまの説明について質問や意見があればおっしゃってください。

**○伊藤委員** 2点お願いします。1点目は、生成AIについてです。子どもたちが授業で使うイメージは何となくわかりますが、先生方が授業の準備だとか、公務に対してどのように活用しているかをもう少し詳しく教えていただきたいと思います。

**○吉元学校教育デジタル化推進審議監兼学校指導課GIGAスクール推進室長** 教職員の活用支援は、保護者へのおたよりの土台案作成、長文の文書の要約、授業案の作成、修学旅行の計画作成など、マルチタスクで教職員が様々な仕事をこなしていかなければいけない中で、1つ1つの素案を提示してくれて、教職員が作業にかかる時間よりも、考える時間を増やしていけるということを期待しています。

**○伊藤委員** 導入しているAIは、学校業務に特化したものなのでしょうか。

**○吉元学校教育デジタル化推進審議監兼学校指導課GIGAスクール推進室長** はい、そうです。他の生成AIですと、期待するアウトプットを得るには、事細かにプロンプトの設定がされていないと期待する結果が出てこないことがあります。導入したものは、教職員の事務についてのプロンプトが設定されています。例えば、授業案については、非常に細かく指定しなければいけないところを、教科名、学年、単元名を入れるだけで、その授業案がすぐに出てくるなど、非常に使いやすい教育に特化したものとなっています。

**○伊藤委員** さすが岐阜市だなと思います。ますますの活用を期待していますので、よろしくお願いします。

**○水川教育長** 対話型AIについては、自分の英語力を試せます。授業参観などチャンスがあれば学校に見に行ってもらったり、定例会の時に実際に使ってもらったりして、学校教育の新たな展開を見ていただければと思います。教職員の活用についても、AIが作ってくれたものをそのまま使うのではなく、それは素案という考え方で、教職員が責任をもってアップデートして使っていきたいです。

**○伊藤委員** 2点目は、出席日数の件に関して教育長が答弁されていますが、岐阜県では出席日数で不利がないように、調査書に記載しなくてよくなるという記事が新聞に大きく出ていました。今後はそういった方向になっていくと思いますが、やはり出席日数が足りないということは、内申がどうしても低くなるのではないかという懸念があります。今のところまだ岐阜県は高校によりますが、入試において5対5や7対3など何割かは内申が加味されます。内申を付けるのはそれぞれの市町村の先生方になるので、岐阜市の中学校の内申の付け方について、今後何か取り組むことはあるのか。今後の方針などもよろしければお聞かせいただいてもよろしいでしょうか。

**○中田義務教育審議監兼学校指導課長** 子どもたちが学校以外にも様々な場で学ぶ機会を設けさせていただいています。不登校児童生徒につきましては、オンラインで教室の授業とつないだり、校内フリースペースで学習を進めたり、オンラインフリースペースも活用したりしています。そういったところでの学びが確実に身につけていることが認められれば、成績にも反映をさせていただいている状況です。ただ、そうしても成績に結びつくような評価ができない児童生徒につきましては、評価そのものが難しいということで、ABCではなく、斜線というような評価をさせていただく場合もあります。入試については自己申告書というものがありまして、自分の成績について理由はこうであるということを、それぞれの子どもと保護者で自己申告できる場がありますので、そういったところの活用を進めています。

**○伊藤委員** 自己申告書の件は、ご存じない保護者もまだまだ多いのではないかと思いますので、ぜひ周知していただくと救われる方も増えてくるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。

**○中田義務教育審議監兼学校指導課長** 各学校で入試事務に関する説明会を保護者向けにしますので、そういった中で周知を図るように指示をしていきます。

**○加藤委員** 私も2点お願いします。1点目は、高校受験に関する件です。関市では、不登校やその傾向がある生徒などに対し、「L教室」というそこで学習すれば内申が付くという教室を設置しました。そのように色々な対策を色んなところが実施し始めているのですが、伊藤委員さんがおっしゃられたように、周知されていないことや学校間での格差がかなりあります。そういうところをもう少し平等になるように、学校によって評価が変わるようでは、入試の時点ですでに高校によるセクションがかかってしまっているということになるので、大事な情報は全ての保護者に伝えるように指導をぜひお願いします。また、今年すごいなと思ったのが、ある中1の子に、期末テスト時の配慮について、配慮してほしい人は申し出てくださいということを中学校から伝えられたと聞きました。それを全ての学校で話していただきたいなと思っています。配慮については、共通テストの時に実施されている別室受検や時間を長くするなど是可以するのではないかと思います。その場合の評価をどうするか、合理的配慮した場合の内申をどうしていくかは、岐阜市教育委員会として決めないと、現場の先生方が苦慮され、学校が困ってしまうと思うので、それをお願いしたいと思います。

2点目は、学校独自のルールの取り組みについて、これは不登校と関係あるのではないかなという話で、子どもを見ていたらまさにそういう子たちがいっぱいいます。もちろん、先生方の指導の色はあっていいと思いますが、生徒指導提要の中の不適切な指導の例にあるようなことは全てしないという周知はしていただきたいです。私は外来で子どもたちの困り感を聞くのが日々の仕事なので、多くのことを聞きます。不適切な指導の例として、給食を無理やり食べさせられたという子もまだいます。岐阜市の教育として、やってはいけないことはやらないという最低限のルールとして伝えていただきたいと思います。

**○中田義務教育審議監兼学校指導課長** まず1点目の配慮については、全ての学校に配慮ができるという周知をしていきたいと思っています。また、学校間格差についても、格差がないように子どもから話をしていきたいと思っています。

2点目の独自ルールの取り組みで、生徒指導提要に書いてある不適切な指導についても行われているというご指摘でしたので、不適切な指導はやってはいけないことですので、そこはやらないということを徹底したいと思っています。

**○岡本委員** ヘアドネーションについて、教育長が答弁されているように差別や偏見がないようにというのはその通りだと思いますが、1つ気になるのは、特定のボランティアについて言及してしまうと、それをやらなければいけないというバイアスがかかることはよろしくないと思いました。ボランティアに参加することは、子どもが社会との接点をもつ1つのきっかけになるため、色々な形のボランティアに参加していくという市民意識を育んだり、情報発信や紹介をもう少し広げたりしていただきたいと考えました。

**○中田義務教育審議監兼学校指導課長** ヘアドネーションについては、それを進めるというわけではなく、それも1つのボランティア活動として認めていき、やりたい子がいればそれを支えていくというスタンスで取り組んでいければと思っています。ボランティアについては、社会・青少年教育課と関わりますが、地域ボランティアスタッフ登録・表彰制度を教育委員会として取り組んでいるので、そういったところで認め励ましをしながら、色々な場面で子どもたちが活動できる場を作っていきたいと思いますし、地域とのつながりも広げていければと考えています。

**○益子委員** 私も生成AIのことをお伺いしたいのですが、やはり教育界の中に生成AIというテクノロジーが入ってくるということは、大学でもこれにどのように向き合うかが非常に大きいテーマです。例えば、英語を翻訳するという課題がほとんど意味をなさなくなったり、質問に対して同じような答えが返ってきたり、同じようなレポートになってしまったりなどがあります。これにどう対峙しつつ、うまく使っていくかというのは、これから大きな課題になると感じていて、そこに第一歩を踏み出した岐阜市のICT活用というのは、非常に大きく注目されてくるだろうと思っています。その中で、教員研修についても、これから児童生徒と教師がともに新しいテクノロジーに対して、どのように活用していくかというスタートラインが同じというのは、なかなかよいことだと思います。大学でもそれは全く同じで、大学教員と学生が学びと教えるということに対して、これまでは教える方が知識や技能をたくさん持っていて、それをまだ学んでいない学習者に提供するという学びだったのですが、それが全く同じスタートラインに立っているという意味で、非常に特徴的な技術だと思っています。要は、学校の先生たちにどのような教員研修を考えているのか、見通しなどを教えていただければと思います。

**○吉元学校教育デジタル化推進審議監兼学校指導課GIGAスクール推進室長** 教員と子どもたちが同時というのは、ご指摘の通りで、今年度の実証につきましても、そういったと

ころを加味しまして、子どもたちは中学校1校のみし、先生方は全校の中で80名、階層別にそれぞれの役割でどんな効果が出るかというところを評価していただく形で進めています。研修は、いわゆる情報モラルをデジタルシティズンシップ教育ということで、デジタルをよりよく使っていこうという趣旨で取り組んでいまして、まさに生成AIはそのよい題材になるかなと思い、デジタルシティズンシップ連携協定を結んでいる大学に知恵をお借りしながら、教員の研修、子どもたちの研修等を計画していきたいと考えています。

**○益子委員**      どのようにうまく使っていくかということと、使う上での危険性をどうやってみんなで理解するかというのは、実は大学も同じですので、ぜひ参考にさせていただきながら、大学でも考えていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

**○水川教育長**      その他、質問や意見はよろしいでしょうか。それでは、以降の議事は、秘密会で進行します。

(以降、秘密会にて開催)

**○水川教育長**      以上で本日の会議は終了です。

次回の会議の日程を確認いたします。

次回の会議は、7月24日水曜日午後1時30分からを予定しています。

詳細については、改めて事務局よりお知らせをいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の定例会を閉会といたします。

ありがとうございました。

午後3時15分閉会